

武雄市敬老会 ～おじいちゃん おばあちゃん ありがとう！～

平成20年度の武雄市敬老会が市内各所で開催されました。75歳以上の市民のみなさまのこれまでの社会的功績をたたえ、また長寿をお祝いし毎年開催されています。今年も、市内7,390名が敬老会の対象者で、それぞれの会場で催しが行われ、活気あふれるものとなりました。

さて、武雄市住民の方での最高齢者は何歳になられると思いますか？答えは「104歳」です。明治36年10月生まれの原千里さんが最高齢者です。（写真右下 真中：原千里さん）原さんは、小学校の教師を勤められ、退職後、農業を営まれていました。また婦人会の支部長や民生委員、ボランティア活動などにも積極的に参加されてこられました。

現在は、白石町の老人保健施設「清涼荘」で生活されています。部屋では、大好きな童謡などを歌ったり、ご家族やスタッフの方々と元気にお話をしているらしいです。

これからも健康で長生きしてください。



▲東川登町の敬老会 みんなで「故郷」を歌っています！



もしもの災害に備えて ～あなたは大丈夫ですか？～



平成20年度武雄市総合防災訓練が9月7日（日）、市内6地区で実施されました。

この訓練は、風水害、震災、土砂崩れ等の大規模な災害に備え、地域住民の参加による避難訓練や防災に関する講話の開催など、市民の防災意識の高揚と自主防災組織づくりの推進を目的としています。

武内町西真手野区では、避難訓練の後に消防署員による応急手当やAED取扱いの訓練が行われました。参加した皆さんは熱心に指導を受けていました。

最近、ゲリラ的な集中豪雨が発生しています。日ごろの備えや対策に心がけましょう。



各地で伝統芸能が奉納されました

9月23日（祝）、武雄市内の各地区で伝統芸能の荒踊りや浮立が奉納されました。雨天のため、体育館での披露となった地区もありましたが多くの見物者でにぎあいました。

写真は、山内町宮野地区に伝わっている鎮西八郎為朝による黒髪山の太蛇退治の一場面です。今まさに太蛇が、人身御供にされた万寿姫に襲いかかろうと虎視眈々とその機会をうかがっている様子です。

